

新型コロナウイルス感染症対策

～全員でこの冬を乗り越える～

今、私たちは今まで経験したことのないウイルスによる「健康管理の危機」に直面しています。この目に見えない相手に、日本はもとより世界の医療、経済、教育、文化芸術等、予想もつかない影響が生じています。

とりわけ、子供たちの心と体の健康への影響は深刻さを増しています。昨年6月に学校が再開されてからも睡眠不足や運動不足、それに加え感染に対する恐怖など様々な思いを抱えて登校している生徒もいます。

そのような状況を改善するため、学校では感染予防に取り組んでまいりました。もちろん、ご家庭のご協力無しではできないことです。

しかし、昨年末から新規感染者が増加し、1月に入り1都3県に緊急事態宣言が発出されました。今回の緊急事態宣言は、学校が休校になることはありませんでしたが、保護者の皆様と協力しながら生徒の心と体の安全と健康について見守り、支援していかなければならないところに来ています。昨年から引き続き生徒の皆さんには我慢と自粛に加え、保護者の皆様にはご協力をお願いいたします。

国内における新型コロナウイルスのワクチンが開発されていない現況下、新型コロナウイルスは、人から人によって運ばれ、大勢に感染し広がってきました。今後、またあらたな感染症が発生することも予想されます。ここで、食い止めたい。生徒・保護者・教職員全員が今、踏ん張りどころだと思います。

新規感染者が急増している今、誰がどこで感染してもおかしくない状況でもあります。周りに感染した人がいたら見舞う心で接し、回復したら快気を喜ぶ心で接してほしいと思います。不正確な情報に振り回され誹謗中傷などのないよう、心よりお願い致します。

生徒と保護者の皆様、そして私たち教職員が心も体も健康に、そして元の生活に戻れる日までまだまだ時間はかかると思います。何卒、ご理解とご協力をお願い致します。

学校では、生徒たちが安心して学校生活を送れるよう、次の事を実施しています。ご家庭でも、感染症予防のご理解とご協力をお願いします。

- ① 家庭で：検温・健康観察。(家族間感染が多く発生しています。ご家族の健康観察もお願いします。)
- ② 登校中：電車やバスなどの公共交通機関を利用する人は、必ずマスクを着用してできるだけ人との間隔を開ける。会話も控える。徒歩・自転車通学者で、複数で登校する場合には、マスクを着用。大声での会話を控え、間隔をあけて通学する。
- ③ 登校後：教室前で手指消毒。検温未実施生徒はステージステーションで検温。手洗いとうがい。
- ④ 朝HR：教員による健康観察及び生徒による健康チェック表の記入と回収。
授業中：マスクの着用。常時窓を開けて換気。
- ⑥ 休み時間ごと：5～10分の換気。手洗い・うがいの励行。
- ⑦ 昼食：手洗いの励行。手指消毒。前向き。密の状態での食事と会話を控える。
- ⑧ 放課後：机いすの消毒、ドア・スイッチ・窓、トイレなど多くの生徒が触れる場所の消毒。
- ⑨ 各ルームに大容量の加湿器を設置。教室内の乾燥を防ぐとともに空間除菌を実施。
- ⑩ 各階に大型加湿器を設置し、湿度管理をしていく。生徒下校後は、次亜塩素酸水で校舎内の消毒を実施する。
- ⑪ 昼食時、自分の席で前を向き、私語を慎みながら飲食事の感染予防に努めている。

感染予防を再確認することが感染拡大を防ぐ

感染経路の中心は飛沫感染及び接触感染です。人と人との距離をとること（Social distancing; 社会的距離）、外出時は必ずマスクを着用する、家の中でも咳エチケットを心がける、さらに家でも換気を十分にすると、十分な睡眠を確保することで個人の免疫作用を高めることができます。そうすることで、家族への感染を回避することができます。また、閉鎖空間において近距離で多くの人と会話をする環境の中では、咳やくしゃみ等の症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされています。無症状の人からの感染の可能性も指摘されており、油断は禁物です。これらの状況を踏まえ、「3つの密（密閉・密集・密接）」の回避、マスクの着用、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒や咳エチケットの励行など、引き続き継続してください。なお、今後の不要不急の外出を避け、自宅での過ごし方について、ご家庭で話題にいただくと幸いです。



家族内感染が急増しています・・・

家庭内での感染が増加し続けています。一人が感染してしまうと、気づかないうちに家庭内での感染が広がっていきます。また、若い世代には無症状の人も多く、気づかないところで家庭内感染が広がっていきます。

万が一、「発熱した、味覚・嗅覚がない・家族の誰かが濃厚接触者に指定された家族に陽性反応が出た」等がありましたら、至急学校までご連絡ください。



pixta.jp - 61469647

行動履歴の記録のススメ

新型コロナウイルス感染症に万が一感染した場合、発症の2週間前にさかのぼり、接触した人を調査する等、行動履歴を確認されます。どこへ行き、誰と会っていたか、移動手段(交通機関)等保健所に聞かれ濃厚接触者を特定しますので、手帳等に記録しておきましょう。

濃厚接触者の定義

濃厚接触者かどうかを判断する上で重要な要素は、①距離の近さと ②時間の長さ です。

必要な感染予防策をせずに手で触れると、または対面でお互いに手を伸ばしたら届く距離(1m程度以内)で15分以上接触があった場合に濃厚接触者と考えられます。マスクの着用の有無も大きなポイントになります。感染者から、ウイルスがうつる可能性がある期間(発症2日前から入院等をした日まで)に接触があった人について、関係性、接触の程度などについて、保健所が調査を行い、個別に濃厚接触者に該当するか判断します。

濃厚接触者の方に注意してほしいこと

- 健康観察期間中は、咳エチケットと手洗いを徹底していただき、常に健康状態に注意してください。
- 不要不急の外出はできる限り控え、やむをえず移動する際にも、公共交通機関の利用は避けてください。

- ・外出時や同居者等と接触する際は、マスクを着用し、手指衛生などの感染予防策をとってください。
- ・同居者の方は、マスクの着用及び手指衛生を遵守してください。
- ・着用しているマスクについて、一度着用したものは、食卓などに放置せず廃棄してください。
- ・マスクを触った後は、必ず手指衛生をしてください。
- ・発熱または呼吸器症状が出て、医療機関を受診する際には、居住区の区役所衛生課に連絡の上、受診を勧められた医療機関を受診してください。
- ・廃棄物処理、リネン類、衣類等の洗濯は通常通りで構いません。

1 番大切なのは・・・毎日の健康観察 健康チェック表の確認

朝、必ず検温をしてから登校してください。

昨年から続けて実施している「健康チェック表」ですが、保護者の確認が必要です。朝のお忙しい時ですが、お子様のチェック表の確認をお願いします。

- ・発熱等の風邪症状がみられる場合は、自宅で休養をお願いします。無理しての登校は、お控えください。
- ・高校生の感染は家族内の感染が多いので、自分は元気でも、家族に発熱者がいる場合は理由が明らかになるまでは、自宅での休養をお願いします。
- ・強いだるさ(倦怠感)・息苦しさ(呼吸困難)・のどの痛みにもご注意ください。
- ・臭覚障害・味覚障害も要注意。

部活動の前にも健康観察をお願いします。

- 土日などの休日の活動では、登校前に検温をしてください。発熱等の風邪症状がある場合は、登校をお控えください。
- 活動前に手洗い、手指の消毒をします。
- 共用物は拭き取りなど清拭をしています。

日常ではない日常

学校では、これまでの日常とは異なる「新たな生活様式」を取り入れた学校生活が定着しつつあります。そして、子どもたちの安全・安心を第一に考え、毎日支援しています。

昨年3月、急な臨時休校により、学校の日常が一変しました。毎日の検温と徹底した健康観察、マスクの着用、手洗い、消毒、前向きな食事など、少し前なら考えられない光景が学校の日常になっています。子供たちはもちろん、大人も不安な毎日を送り、臨時休校にしなければならない状況が起きていました。その後学校が再開し、ピリピリした緊張感の中授業や部活動が再開され、毎日の検温とともに健康チェック表の記入もしてきました。この健康チェックも長く続き、最近では生徒の中にも緊張感が薄れてきていると感じます。。手洗いが以前のように出来ていないのか、寒い季節になってきたので、手を洗う回数が減ったのか、手洗いで使用していたハンドソープの減り方もゆっくりになってきました。これを「気の緩み」と言って良いかわかりませんが、ここでもう一度緊張感を取り戻し、皆さんが健康で過ごせるよう取り組んでいきたいと思えます。以前のような日常の生活を取り戻すために……。

子供たちの心と体の変化

昨年6月の臨時休校が明け、学校再開から継続されてきた不安に加えて、進級や学習、友達関係。新たな環境や人間作り、自分や家族の感染への不安や恐れなどにストレスを抱えている生徒が多いと感じています。コロナ禍で明らかになった子供たちの特性に合わせて、家庭と学校と協力し柔軟な対応が必要だと感じています。頑張り過ぎてしまうことで、心も疲れてしまう…。そのような生徒が増えています。

本校には、毎週木曜日、隔週で月曜にスクールカウンセラーが来校しています。「あれっ？何か違う…」、「元気がない」等、普段と違うと感じた際には、学校までご連絡ください。保護者の方がカウンセラーと相談することも可能です。スクールカウンセラーを上手に利用して、生徒の心の課題の早期発見・早期対応につなげられるよう、ご家庭のご協力をお願いします。

最後に・・・

新型コロナウイルス感染症が発生してから、1年以上が過ぎました。発生当初は、治療法や感染予防の方法にも迷いがあり、「マスクが有効?」、「何をしたらよいのか」など戸惑いました。そんな中、感染が拡大したことから、昨年5月に緊急事態宣言が政府より発出されました。

現在2回目の緊急事態宣言が発出されています。しかしテレビで報道されている通り、多くの人が町に出ている状況です。やはり今は、我慢の時だと思います。昨年も多くを我慢してきました。令和3年のスタートもままならない状況ですが、少しでも元の生活に近づけるよう、保護者の皆様からのご協力をいただきながら生徒とともに頑張っていかなければなりません。

今、どこで、誰が感染するかわからない状況です。こんな時だからこそ、出来ない事で誰かを批判するのではなく、誰かのために、自分のために、大切な人のために何が出来るかを考えられる、そんな人になって欲しいと思います。出来ることを出来る人が出来る時にやるのが大切です。

また、家族や身近な人で発熱・頭痛・強い倦怠感がある、PCR検査を受ける、濃厚接触者に指定された等がありましたら、登校を控えていただき学校までご連絡してください。感染予防の観点から、授業が始まっている時間帯でもご連絡をいただくと幸いです。

保護者の皆様、まだまだお願いすることも多くあります。子どもたちの健康で安全な学校生活のために、ご理解とご協力をお願い致します。